

じどうとしょしつだより

れいわ ねん なつごう
令和4年 夏号

きょうとしちゅうおうとしょかん じどうとしょしつ
京都市中央図書館 児童図書室 (でんわ)802-3133

『じどうとしょしつだより』で紹介した本は、児童図書室内の
特別コーナーで展示しているの、気になる本があったらぜひ来てね♪



おしらせ

6月～8月までの行事予定です。

6月

- 6月2日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ ぴよぴよクラス
6月16日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ たんぽぽクラス
6月25日 (土) カンガルーポケットさんによる夏のおたのしみ会



7月

- 7月7日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ ぴよぴよクラス
7月21日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ たんぽぽクラス
7月23日 (土) おたのしみ会



8月

- 8月6日 (土) 夏休みおたのしみ会

※赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこはお休みです。

自由研究のヒント
になるかも？！



※赤ちゃん絵本の会は、おおね1歳まで(ぴよぴよクラス)と、

おおね1歳以上(たんぽぽクラス)の赤ちゃんとその保護者が対象です。

※行事に参加するには、事前の申し込みが必要です。

詳しくは図書館のHPや館内のポスターでお知らせします。

※新型コロナウイルスの感染状況により、行事は急に変更、
中止になる場合があります。



山の本いろいろ

『やまをつくったものやまをこわしたもの』 かこ さとし／^{え ぶん}絵と文 ^{のうさんぎょそんぶんかきょうかい}農山漁村文化協会

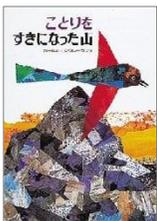


E	やまはどっしりとしていて、ぜったいに ^{うご} 動かないと思 ^{おも} っていませんか？山ははじめから、 ^{たか} 高かったわけでは ^{あり} ません。そして今も長い時間 ^{いま} をかけ、 ^か かたちを ^{ちから} 変えています。どんな ^{ちから} 力がはたらいているのでしょうか？
カ	



『^{おんな}女トロールと^{にん こ}8人の子どもたち』 ^{グズルン・ヘルガドットイル}グズルン・ヘルガドットイル／^{さく かいせいしゃ}作 偕成社

E	トロールはアイスランドの山 ^{やま} にすむ ^{きょじん} 巨人です。なまけもの ^{だけ} れど、 ^{ひゃくねん} 百年にいちどは、 ^{そう} じもするし、 ^{ごち} そうもつくり ^{ます} ます。大き ^く くて、 ^{ちから} 力が ^{つよ} 強いけれど、 ^ひ 日を ^あ びると、 ^{いし} 石になっ ^て てしまいます。
オ	



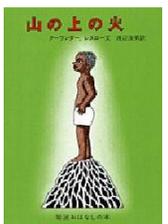
『ことりをすきになった山』 ^{アリス=マクレラン}アリス=マクレラン／^{ぶん かいせいしゃ}文 偕成社

E	岩だらけの山 ^{やま} に ^{いち} わの ^{ことり} がや ^{って} てきます。山は ^{やま} ことりが ^{だい} 好きになり ^{ます} ますが、 ^{みず} 水も ^{くさ} 草も ^{ない} ない山 ^に に ^{ことり} は ^す 住 ^め ません。でも、 ^{ことり} は ^{まい} 毎年山 ^に に ^あ 会いに ^来 て ^く れます。それでも山 ^は ず ^と と ^{いっ} しょに ^い たく ^て たま ^ら ず…。
コ	



『ゆうきのおにたいじ』 ^{そや きよし}征矢 清／^{さく ぶくいんかんしよてん}さく 福音館書店

913	ゆうきはおじいちゃん ^と 山 ^に い ^{って} て、 ^{わる} いお ^に に、 ^お 弁 ^当 をと ^ら れて ^し ました。つぎの ^ひ 日、ゆうき ^は 、お ^に の ^{やま} 山 ^へ お ^に たい ^じ に ^で かけ ^{ます} ます。ちよ ^と とこ ^わ い ^け れ ^ど 、ま ^ぬ け ^て に ^く め ^{ない} お ^に の ^は なし。
ソ	



『山の上の火』 ^{クーランダー}クーランダー／^{ぶん いわなみしよてん}文 岩波書店

933	め ^し つか ^い の ^{わか} 若 ^者 アルハ ^は 、 ^{かね} 金 ^持 ちの ^{しゅ} 主 ^人 から、 ^こ ご ^え る ^ほ ど ^{さむ} 寒 ^い 山 ^に に ^は だ ^か で ^一 晩 ^中 立 ^っ て ^い たら、 ^は 畑 ^と 家 ^畜 を ^や る、 ^と 言 ^わ れ ^ま した。 ^{こま} 困 ^っ たアルハ ^は 、 ^{もの} し ^り じ ^い さん ^の の ^と ころ ^へ で ^か け ^て い ^き ます。
ク	



『^{じぶん}自分の^{ちから}力^にく^と肉^を獲^る』 ^{せんまつ しんや}千松 信也／^{ちよ じゅんぼうしゃ}著 旬報社

659	^{りょうし} 猟 ^師 を ^し て ^く 暮 ^ら し ^て い ^る 著 ^者 による ^{しゅりやう} 狩 ^猟 ガイド。 ^や せ ^い 野 ^生 の ^{けもの} 獣 ^を 獲 ^る コ ^ツ ツは、 ^{やま} 山 ^の 名 ^探 偵 ^に なる ^こ と！ ^{どうぶつ} 動 ^物 た ^ち の ^{のこ} 残 ^し た ^{すこ} 少 ^し の ^い こ ^ん 跡 ^も 見 ^逃 し ^ま せん。 ^{えもの} 獲 ^物 を ^し と ^め 、 ^{かい} 解 ^体 し ^て 料 ^理 す ^る 方 ^法 も ^書 い ^て あ ^り ま ^す 。
セ	

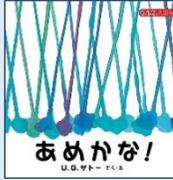


あか えほん 赤ちゃん絵本



ぽつぽつ ザーザー。あまおと き 雨音を聞きながら

あか いっしょ たの あめ
赤ちゃんと一緒に楽しめる雨のおはなしはいかがですか？



E
ア

『あめかな!』

U.G. サトー／さく・え ふくいんかんしょてん 福音館書店
空からぽつぽつ降ってきた赤と青，紫，
群青，エメラルド…これはなんだろう？
色彩と音のひびきが魅力的な一冊です。



E
ア

『あめふり』

まつい のりこ／作・絵 え かいせいしゃ 偕成社
上手に雨やどり，雷にびっくりなど雨の日
の生きものたちが描かれた，文字のない絵本
です。おはなしを かんが 考えながら たの 楽しめます。



E
オ

『おつかい』

さとう わきこ／さく ふくいんかんしょてん 福音館書店
雨の日におつかいなんて！出かける前，
あれこれと心配ばかりしている女の子。
ユーモアたっぷりの たの 楽しい えほん 絵本です。



E
ア

『あめふりくまのこ』

つるみ まさお／詩 し ひさかたチャイルド
鶴見 正夫
小雨の中，子ぐまの小さな たの 楽しみを えが 描いた
童謡「あめふりくまのこ」の えほん 絵本。歌い
ながらページをめくるのもおすすめです。

あめ えほん
～雨の絵本～

あめ ひのお出かけも
たの 楽しいね♪



『おさんぽ おさんぽ』

ひろの たかこ／さく
ふくいんかんしょてん 福音館書店



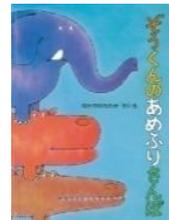
『あめ ぽぽぽ』

ひがし なおこ／さく
くもん出版



『あかいかさ』

ロバート・
ブライト／さく
ほるぷ出版



『ぞうくんの
あめふりさんぽ』

なかの ひろたか／さく・え
ふくいんかんしょてん 福音館書店



つゆ あめ
梅雨の雨にも



べんり かさ
あると便利な傘

なつ ひざ
夏の日差しにも



あめ ゆき にっこう じか あ かさ く みぢか どうぐ
雨、雪、日光などが直に当たらないようにしてくれる「傘」。私たちの暮らしに身近な道具ですね。
かさ にほん はい こだい ちゅうごく い わし あぶら ぬ あめ つよ かさ
傘が日本に入ってきたのは古代で、中国からと言われています。和紙に油を塗って雨に強い傘
ができたのは室町時代、一般的に和傘が普及したのは江戸時代に入ってからです。それまでは
「かさ」といえばかぶり物のかさのほうが主流だったようです。



かさ しゅるい 傘の種類

わがさ
和傘

ほねぐ たけ あぶら
骨組みは竹でできていて、油をしみこま
かみ せつ紙をはっています。一般的な和傘を
ばんがさ へびめ もよう
「番傘」、ヘビの目のような模様をつけた
こうきゅう かさ じゃめがさ
高級な傘を「蛇の目傘」といいます。



ようがさ
洋傘

ほねぐ きんぞく
骨組みは金属やプラスチックでできて
いて、ビニールやナイロンなどの生地
をはっています。「こうもり傘」ともいい
ます。



つじよう わがさ
通常の和傘より
こぶりで軽い!

かさ
こんな傘も!

えんげきぶようがさ にほん てんとうげいのう かぶき こどうぐ
演劇舞踊傘 —日本の伝統芸能である歌舞伎の小道具—
かぶきやくしゃ うつく えんぎ はな こうか
歌舞伎役者をより美しく、演技を華やかにみせる効果があります。



かさ 傘にまつわるクイズに挑戦



した こた かく ちようせん
下の答えを隠して挑戦してね!

1 私たちが普段使っている洋傘の骨は8本ほど。では和傘の骨は何本?

- ①5本 ②15本 ③30本以上

2 傘がよく使われるようになった江戸時代。初めはどんな人が使ってた?

- ①子ども ②男の人 ③女の人

3 骨が折れたり、油紙が破れたりして使えなくなった傘。昔はどうしてた?

- ①捨てる ②売る ③自分で修理

クイズの答え

1 の答え:③

わがさ ほね ほん
和傘の骨は30~70本もあり
ます。ナイロンなどでできて
いる洋傘に対し、和傘はやわ
らかい和紙でできているた
め、多くの骨でささえる必要
があるためです。

2 の答え:①

ももとは子どもが日傘を
使っていました。これが大人
の間にも利用されるようにな
ったそうです。



3 の答え:②

「傘の古ほね買い」という職業の
人が買い取っていました。買いと
った傘は解体して、竹でできた骨
は傘屋へ売り、油紙はももんじ屋
(けもの肉を扱う業者)などへ
売り、再利用されました。

さんこう
参考にした本



おかし しごとだいずかん こいずみ かずこ かんしゅう にほんとしよ
『昔のお仕事大図鑑』小泉 和子/監修 日本図書センター
しら にほん しよくにんてんどう がっけんきょういくしゅつばん
『調べてみよう!日本の職人伝統のワザ 5』学研教育出版
う ごえずかん えど えほんじゅくしゅつばん
『売り声図鑑 3 江戸のくらしとリサイクル』絵本塾出版

